



だろう。

シドキやウルイといった山菜を摘みながらゆっくりと下ってゆき、16:25観音堂沢本流へと出た。本流に出る直前にかかる3つの滝の最下段のものだけは下ることができず、左岸を捲く。全体としては平凡な沢であった。 (記・2)

[タイム] 下降開始(15:30)→下降終了(16:25)

サクラバシ沢

1983年10月15日

現在地を確認して下降にかかる。5分程で水が出てきた。クソハナ沢とちがってヤブはひどくなく、楽な下降となった。やがてナメが出てくる。途中に小滝が3つあるだけで、ナメの中をスタスタ歩く感じでサクラバシに到着。一応橋の下も下降して観音堂沢まで下ってみたら、こちらにはまず3m、続いて2.5mが2つ、そして最後に6m斜瀑と小さいが滝が続いていた。

(1)

[タイム] 下降開始(13:25)→橋(14:00)

カイトキ沢

1983年10月23日

旧観音堂集落のすぐ上流がカイトキ沢である。観音堂沢本流に15mの斜瀑をかけるが、右岸をブッシュづたいに登ることができる。その先小滝とF2 3mも何なく登れる。S字状のカーブとなったナメを過ぎると橋である。橋のすぐ上のナメと小滝を越えた所に材木で造られた取水用の堰がある。旧観音堂集落のあたりに広がるたんぼに水を引くためのものであろう。

この先小滝を越え、左岸から7mの滝となって小沢が合流すると、兩岸が狭まってV字状の流れとなる。二俣まで小滝がいくつか出てくるが、歩きやすくペースも

